

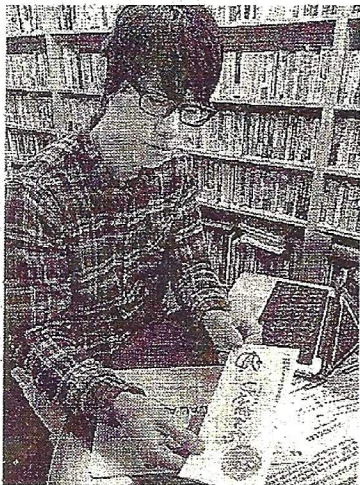
千葉

千葉市で、プロのデザイナーやクリエイターを目指す学生を地域の企業が支援するプロジェクトが動き出した。地元のお店や会社のチラシ、ポスター製作などの仕事を学生にアッセンし、ビジネスを体験してもらおうという試み。若い才能の育成に加え、卒業後千葉から流出しがちな人材を地元に残すという狙いもある。

プロジェクトは「EGGS（エッグス）」。千葉大学出身で在学中にIT企業を興したトライアップ（千葉市）の虎岩雅明社長、千葉大出身でイベント企画を手掛けるプ

デザイナーやクリエイター

プロめざす学生
千葉企業が支援



手掛けたチラシを手にする千葉大の岡本さん

ロシードジャパン（同）の吉川亮社長に、大学のキャンパスのあるJR西千葉駅近くの古書店主、広告代理店社員らが加わり今年から動き出した。

新しい才能が殻を破って羽ばたいてほしいとの期待を込めて名付けた。

報酬や納期も事務局が地元の企業や

事務局、ポスター製作など仲介
実務体験、人材定着も狙う

商店からデザインや印刷に関する仕事を集め、希望する学生にアッセンするというのがプロジェクトの仕組みだ。千葉大を中心にデザイナーやコピーライターなどを狙う学生約30人が登録。学部は工学部から教育、文部まで幅広い。

仕事には1件当たり5千円前後の報酬を支払うに納期もある。「仕事としてデザインをやりた」と考える学生は多いが、やり方がわからない。彼らにチャンスを与えたいと考えた「虎岩社長」とはいえ打ち合わせの仕方がわからない、領収書

が書けないといった学生もいるため、事務局がサポートする。

千葉大工学部デザイン学科2年の岡本正悟さんは「世の中と関わりのあるデザインをやりたい」と考えメンバーに登録した。今年に入りイベントのポスターや新規開業する弁当店のパンフレットやロゴデザインを手掛けた。

エッグスには、東京などに流出しがちな人材を地元に残すという狙いもある。起業後も千葉市に本社を置く虎岩社長は「エッグスを通して学生の地元での人脈が広がり、千葉にとどまるよりどこかへ行ってほしい」と期待している。

授業にない責任

「自分のデザインが実際にチラシや看板になる」と思つと、大学の授業にはない責任を感じた」と岡本さん。将来はグラフィックデザイナーを目指すと期待している。

千葉支局 043-227-4346